



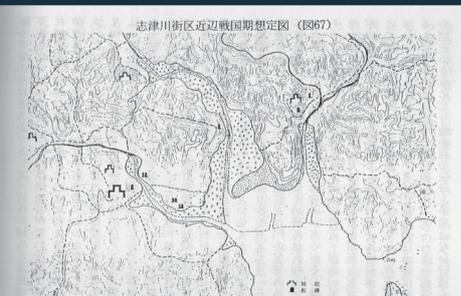
400年前の 震災復興まちづくり



移転前の八幡社

出典：南三陸町 VIRTUAL MUSEUM

実は同じ場所です



戦国期志津川の地形想定図

出典：佐藤正助著『志津川物語』



2011.3.11 津波浸水図

400年前を知り、
400年後を想ふ。

2024 **9.19** [18:30開場]
(木) 19:00-20:30

参加費

入場無料

会場

南三陸町生涯学習センター
(第一研修室)

東日本大震災のちょうど400年前、江戸時代初期の1611(慶長16)年にも三陸沿岸は大津波に襲われています。マグニチュード8.1と推測される慶長三陸地震によるもので、東日本大震災による大津波、平安前期の869(貞観11)年の大津波とともに、数百年~千年に一度の最大規模の津波(L2津波)とされています。その大津波からの復興が、東日本大震災を経て今日まで繋がる志津川街区の基盤となりました。400年を隔てた復興まちづくりを比較することで、今後400年のまちづくりまで考えてみたいと思います。

講師

すずきたくや
鈴木卓也氏

生まれも育ちも南三陸。
町教育委員会職員を経て現在フリーランス。南三陸地域イヌワシ生息環境再生プロジェクト協議会の現会長、南三陸ネイチャーセンター友の会の前会長。南三陸町文化財保護委員及び環境審議委員。

